



スポーツ科学部

(設置構想中)

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

さまざまな社会の課題を解決へ導く、
「スポーツ」と「からだ」の新たな価値と可能性を探求。

スポーツ教育学科

P21

スポーツ健康科学科

P23

※設置申請が遅延した場合、2023年4月は、スポーツ健康政策学部、
スポーツ教育学科、スポーツテクノロジー学科、スポーツ健康政策学科の
1学部3学科構成となります。



アドミッション・ポリシー [入学受入れの基本方針]

スポーツ科学部では、深い教養とスポーツ科学についての専門的知識を身につけ、その上で現代社会が抱える課題に対応できる人材の養成を目的としており、このためスポーツ科学部では、次のような知識や能力を備え、主体的に社会変革を実現していく意欲のある人材を求める。

知識・技能

1. 本学での学修に必要な基礎学力を有している。

思考力・判断力・表現力

2. 知識・技能を活かして自ら思考し、意見を表明することができる。
3. 他者の考えや意見を尊重し、相手の立場に立って物事を伝えることができる。多くの人々とコミュニケーションがとれる。

主体的に学習に取り組む態度

4. 積極的に他者と関わり、協働して活動することができる。
5. スポーツ、健康、教育といったジャンルにとらわれることなく、日頃から現代社会が抱える様々な問題に幅広く関心を持ち、解決の道を探る意欲を有している。また、様々なことに好奇心を持ち、主体的に社会参画することができる。

《スポーツ教育学科》

現代社会の抱える教育問題に関心があり、スポーツや身体文化でそれらの諸問題を解決することを目指す人。

全ての人々に、スポーツや運動の楽しさを伝えることを目指す人。

小学校、中学校、高等学校の教員や、生涯学習社会における指導者となることを強く目指す人。

《スポーツ健康科学科》

スポーツ科学・医学・情報を融合させ、あらゆるスポーツ競技や身体表現の世界、健康づくりといった場面で、科学的な分析で貢献できる、幅広い指導者を目指す人。また、最先端のテクノロジーを駆使し、スポーツ映像やデータ分析の活用で競技力向上など広くスポーツ界の発展を支えるアナリストを目指す人、あるいはそれらの能力をコーチングに活かせる指導者を目指す人。

最新のトレーニング理論や、データ分析の方法だけでなく、指導技術や洞察力を持ったスポーツトレーナーを目指す人。

スポーツライフの大きな視点から、スポーツマネジメントやマーケティングを理解し、スポーツイベントの運営やスポーツ経営の専門家を目指す人。

身体文化やスポーツを手がかりに、すべての人が健康で楽しく生きられる社会のデザインを目指す人。

カリキュラム・ポリシー [教育課程編成・実施の基本方針]

スポーツ科学部では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、大学共通のMASTプログラム、スポーツや健康、身体に関する専門的な知識・技能のみならず、社会人として各界で活躍する際に必要な幅広い知識や教養を身につけるといった基本方針に基づき、教育課程を編成し、系統的・構造的に配置する。また学生の達成状況を常に評価しながら、何を学んだか、ではなく何を身につけたかを重視したカリキュラム編成を行う。

1. 「人生と学びの基盤となる力」(考動力、複眼的思考力、共感力、リーダーシップ、探究力、自律的キャリア)をMASTプログラム中心に修得する。
2. 「スポーツや身体文化の担い手」として将来活躍するために、スポーツ基礎実技をはじめスポーツや健康或いは、身体文化に関する専門知識を身につけ、さらに専門演習や卒業研究を通してそれらを実践する能力を養う。
3. 各授業科目では、知識の定着を総括的に評価するとともに、資質・能力の獲得を形式的に評価する。教育課程を通じては、各年次の主要科目においてディプロマ・ポリシーの達成度を評価する。

ディプロマ・ポリシー [学位授与の基本方針]

スポーツ科学部は、深い教養とスポーツ科学についての専門的知識を身につけ、その上で現代社会が抱える課題に対応できる人材を輩出することを目標として、卒業時に以下のような能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

専門的知識・技能

- ▶スポーツ科学に関する専門知識と技能を体系的に身につけている。
- ▶スポーツや健康に関する専門知識を、現代社会の諸問題と関連づけて理解している。

「人生と学びの基盤となる力」

考動力.....物事を批判的に捉えて問題を発見するとともに、その問題解決のために行動することができる。

複眼的思考力.....多角的な視点と柔軟な心をもって、物事をとらえることができる。

共感力.....他者の意見や考えに耳を傾けるとともに、自らの意見や考えを表現し、伝えることができる。

リーダーシップ.....集団の目標達成のために、自らの果たすべき責任を自覚するとともに、他者と良好な関係を築き、協働することができる。

探究力.....積極的に新しいことに挑戦するとともに、粘り強く学び続けることができる。

自律的キャリア.....長期的な展望をもって将来の人生を思い描き、その実現のために必要とされる物事を理解し、それに向けて計画し、実行することができる。

学部長からのメッセージ

スポーツ好きな人はもちろん、スポーツと健康について深く学びたい人を歓迎します。

本学部では、スポーツと健康を中心に学ぶ2つの学科の特徴を生かして、教員やスポーツの指導員、スポーツと関わる多彩な人材、スポーツイベントなどを企画・運営できる人材を育成します。多様な学びを通して、卒業後は小学校・中学校・高等学校の教員、警察官などの公務員、スポーツ関連企業を中心に活躍することができる人材を輩出します。スポーツが好きで、スポーツと関わりたい人に出会えることを楽しみにしています。



吉鷹 幸春 教授

[運動方法論 / コーチ学 / スポーツ心理学]

スポーツ科学部

(設置構想中)

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

スポーツ科学部は、「スポーツ教育学科」と「スポーツ健康科学科」の2つの学科で構成され、幅広い教養と確かな専門知識を身につけることができます。

スポーツが持つ無限の可能性を探求し、現代社会が抱えるさまざまな問題をスポーツや身体文化を通して解決し、社会に貢献していける人材を育てます。

4年間の学び

1年次

2年次

スポーツ教育学科

初等教育コース

中高体育専科コース

スポーツを中心とした教育方法を学び、小学校教員を目指す

小学校の教員免許を取得できる本学科では、子どもたちをスポーツ好きにする教育方法の修得を目指します。ボランティア活動や教育実習を通じてスポーツや健康に関する知識・技能を身に付け、教育現場が抱える課題について柔軟に対応できる教員を目指します。また、学内にある「教職指導室」で教員採用試験の万全なサポートを行っています。

スポーツ健康科学科

スポーツコーチングコース

スポーツトレーナーコース

スポーツライフコース

からだを軸に科学・健康・文化を学び、スポーツで社会に貢献できる人材を目指す

スポーツの基礎的な理論や知識を学べる授業に加え、スポーツをあらゆる角度でとらえるユニークな授業が多い本学科では、スポーツ指導者やトレーナーはもちろん、スポーツの枠を超えたさまざまな分野の職業を目指します。また、スポーツインターンシップ実習、スポーツプロジェクト実習などの体験型授業を通して、現代社会で必要となる実践力を強化。中学校・高等学校の保健体育の教諭免許の取得も可能です。

教職課程履修の流れ

■ 教職課程履修
■ オリエンテーション
■ 教職課程仮登録

■ 教職課程履修
■ オリエンテーション

■ 教職課程本登録

■ 介護等の体験説明会

■ 介護等の体験申し込み

■ 教育実習事務手続きに関する説明会

共通

スポーツ医学・生理学・心理学・栄養学・
バイオメカニズムなどの基礎理論の習得

陸上やハンドボール、ダンスなどスポーツ実践能力の獲得

コース選択

スポーツ指導者・コーチ

スポーツ指導者論、スポーツ心理学、各種スポーツの指導法を学ぶ

スポーツトレーナー

テーピング論、コンディショニング論、スポーツリハビリテーション論を学ぶ

スポーツアナリスト

スポーツ情報処理論、スポーツ情報戦術論、スポーツ映像分析論を学ぶ

スポーツ関連の企業や団体職員

地域社会とスポーツ、スポーツ政策論、NPOマネジメントを学ぶ

進路に応じた実践力獲得の流れ

スポーツで養った「からだ」の生かし方を見つける

サービス・ラーニング実習

学部・学科で学んだ知識や技術を、企業やNPO団体の社会貢献活動に生かす「サービス・ラーニング実習」。子どもや高齢者など、多様な世代の人と関わることで、地域社会が抱える課題やニーズを発見しながら、コミュニケーション能力、行動力などを身に付けます。



実習を通してスポーツ文化を体感する

体験型実習

インターンシップ実習や国際コミュニケーション実習など、学生が体験的に学ぶ機会を設けています。また、各学科でも自然活動論(教育)、スポーツコーチング実習(健康科学)などの実習を用意しています。

(教育):スポーツ教育学科 (健康科学):スポーツ健康科学科



「からだ」を使って外国語を身に付ける

外国語コミュニケーション(英語・中国語・韓国語)

グローバル化が進むなかで、ますます必要とされる語学力を身に付けます。このプログラムでは、10名程度のネイティブスピーカーと一緒に40分間集中して授業に参加します。運動しながら英語を学ぶこともあり、からだで外国語を体得していきます。



3年次



4年次



卒業後の進路

大学院

■ 教職課程履修
オリエンテーション

■ 教育実習先訪問・決定

■ 教職課程履修継続届の提出

■ 内諾依頼発行申請書提出

■ 介護等の体験および
体験事前指導

■ 教育実習事前指導

■ 教職課程履修
継続届提出

■ 教育実習

■ 公立学校
教員採用第一次試験

■ 教育実習事後指導

■ 教員免許
一括申請手続きに
関する説明会

小/中高 教員免許授与

教員免許取得

- ▶ 小学校教員
- ▶ 中学校・高等学校教員
(保健体育)

▶ 生涯学習における
スポーツ指導者

▶ 幼児教育指導者

▶ スポーツ関連企業 など

教員免許取得

- ▶ 中学校・高等学校教員
(保健体育)

▶ スポーツ指導者・コーチ

▶ スポーツアナリスト

▶ スポーツトレーナー

▶ 総合型地域スポーツ
クラブ指導員・職員

▶ スポーツクラブの
インストラクター

▶ スポーツや医療関連用品の
開発販売 など

スポーツ科学
研究科

体育・スポーツの現代的諸問題の解決・実現に指導的役割を果たす人材を「高度専門的職業人」と定義し、スポーツ科学の専門知識をさらに充実・発展させた各職場で要求されるより高い専門知識や技能を修得します。

スポーツ健康科学領域
(修士課程2年間)

健康を維持するための身体的メカニズム、医・科学的知識、健康・スポーツ工学など、さまざまな専門知識を学びます。

スポーツ文化科学領域
(修士課程2年間)

多様な社会スポーツ環境を充実・振興するための諸政策・方策、スポーツマネジメント論などを多角的に研究します。

専門演習Ⅰ・Ⅱでスポーツの教養を深める

各種スポーツ指導法・コーチング論で指導理論を学ぶ

ゼミ配属

中高 教員免許授与

スポーツコーチング実習Ⅰ(学内)Ⅱ(学外)で
現場力を身につける

スポーツ現場実習Ⅰ～Ⅴでトレーナーに必要なスキルを身につける

桐蔭スポーツアナリティクスラボ(T-SAL)で実践力を養う

スポーツプロジェクト研究、スポーツインターン実習で実際の現場を体験する

スポーツ科学部 スポーツ教育学科



教育現場が抱える課題を

解決できる実践的指導力を身に付ける

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

現在の学校教育は、グローバル化、少子・高齢化、情報化などの社会構造の急激な変化に対応することが求められています。さらに、コミュニケーション能力の不足、体力低下、不登校、いじめなど、児童や生徒が抱える問題も多様化しています。教育現場で求められるのは、魅力ある実践的指導力を有する教員です。スポーツや健康に関する知識・技能を生かして、教育現場が抱える課題を解決できる教員を育てます。

教員免許取得までのステップ

1年次

基礎力を高めながら教職への理解を深める

- ▶ 共通 ● 近年の教育への変化 ● 児童・生徒への理解
アクティブラーニングなど、教師として必要な教養を学びます。苦手な科目について基礎力を高めます。
- ▶ 小学校 各教科(算数、国語、理科、社会、生活など)の基本的理解を深めていきます。
- ▶ 中学校・高等学校 実技科目などの体育に関する基本的な科目を履修します。

2年次

演習などを通して教職における指導力を向上

- ▶ 小学校・中学校・高等学校
実際の児童・生徒指導に向けて、教科の知識を深めるとともに、教科に応じた指導法を身に付けていきます。教育現場で生かせる指導力を高めます。

3年次

体験的学習を通して実践的な課題を発見

- ▶ 小学校・中学校・高等学校
各教科、選択した種目で学習指導案の作成や模擬授業に取り組みます。介護等体験実習は老人福祉施設で5日間、特別支援学校で2日間の全7日間で行います。

4年次

教職理論と実践をつなぎ、実践的指導力を向上

- ▶ 事前指導 小学校・中学校・高等学校
● 指導案の作成 ● 心構え
- ▶ 教育実習 小学校:4週間 中学校・高等学校:2~3週間
- ▶ 教職実践演習 小学校・中学校・高等学校
● 児童・生徒理解 ● 授業省察 ● コミュニケーション等



学科長からのメッセージ

子どもに寄り添い、アップデートできる「先生」になろう。

コロナ禍を経て学校現場の学びのスタイルがみなさんの子どもの頃とは大きく変わりました。身体を動かす楽しさ、仲間と戦術を考える面白さはそのままに、タブレットを活用してより主体的な学びを展開する力が教師に求められます。大学でのアクティブラーニングに加えて近隣の学校や桐蔭学園小学部の最新の取り組みから学び、あなたの実践的指導力をバージョンアップさせてください。



谷本 直美 教授 [音楽科教育学 / 教師教育]

スポーツ教育学科 Q&A

Q 体育以外の教科についても授業で学びますか？

A 体育に関わる授業がとて多いですが、教師論、教育心理学などの教育に関わる基礎的な科目に加えて、大学の学習に欠かせない情報リテラシーの授業も必修です。小学校の免許取得には国語、算数から音楽、図画工作、家庭科に至るまで各教科の履修も必要です。

Q 授業以外の採用試験対策サポートはどんなものがありますか？

A 小・中・高の元校長である客員教授3名による教職ゼミに参加して、学校現場についての理解を深め、二次試験に向けた模擬授業や面接対策の指導を受けることができます。その他、一次試験のための校内学カテストや対策講座や全国模試に加えて、個別の学習指導も実施しています。

Q 教育実習ではどんなことをするのでしょうか？

A 4年次に教育現場で学校種に応じて2~4週間の実習に参加します。事前に教材研究、学習指導案の作成、教具の準備なども行います。最終週には研究授業として実習校の先生方や大学の担当教員が参観し、反省会も行われます。理論と実践の統合の場となります。

授業内容(カリキュラム)についてはこちらをご覧ください。



スポーツ科学部 スポーツ健康科学科



「する」「見る」「支える」「育む」の視点で、
スポーツを科学的にとらえる

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

スポーツは可能性に満ちたコミュニケーションツールです。

この学科では、スポーツ科学についての専門的知識・技能を身につけ、

社会のさまざまな課題に対して主体的に解決できる人材を育成します。

目指す進路に応じて3つのコースがあり、いずれのコースも教職関連の単位を取得することで、
中学校および高等学校の教員免許が取得できます。

学びのコース [コース選択は、2年次進級時に行います。]

スポーツコーチングコース

スポーツ指導者として選手を成功に導く

スポーツの意義や価値を正しく理解し、発達段階や技術レベルに応じた最適なコーチングを行うことができるコーチの育成を目指します。4年間の学びを通じて自らのコーチング像を作り上げ、これからの時代に必要とされるデータ分析などの能力や、アスリートに寄り添うグッドコーチの能力を高めます。

スポーツトレーナーコース

科学の力で選手をサポートする知識と技術を学ぶ

競技スポーツをはじめ、スポーツを楽しむ全ての人々の健康に配慮しつつ、最適なパフォーマンスを引き出すスポーツトレーナーとして活躍する人材を育成します。幅広い医学的な知識を基に、科学的なトレーニングやコンディショニング、運動障害への対処法などを理論と実践を通して学びます。

スポーツライフコース

実践的な学びを通して、スポーツの新たな価値と可能性を追求する

社会の変化に伴い、改めてスポーツが持つ意義や効果が見直される今。体を動かすという側面だけでなく、地域、経済、政治、教育、環境など、あらゆる角度からスポーツを学びます。スポーツが私たちの生活にもたらす可能性を追求し、スポーツで社会に貢献できる人材を育成します。

対象とする領域

コーチング

データサイエンス

トレーニング

コンディショニング

地域・国際

生涯スポーツ



学科長からのメッセージ

スポーツを愛するすべての人を支え、幸せにするための学びを。

現在、多種多様なスポーツイベントやスポーツ大会が開催されています。そこには競技者とそれを支える人、そして観衆がいます。スポーツはそこに集う人みんなを幸せにしてくれる。私はそう信じています。この学科では「スポーツする人を支える」人材を育成します。勝利するためには、記録を更新するためにはどうすればいいか、誰もがスポーツを楽しむにはどうすればいいか。答えはこの学科にあります。



加藤 知生 教授 [スポーツ理学療法 / アスレティックトレーニング]

スポーツ健康科学科 Q&A

Q どんな授業がありますか。

A スポーツ健康科学科は、一般的な体育・スポーツ系の学びとは異なり、ユニークで幅広い分野の授業がたくさん用意されています。スポーツに関する最新のトレーニング法から、大学の外に出て実際に体を動かすことで理解を深める体験型授業、さらには人生をよりよく生きるためのスポーツ教養まで多種多様です。面白く、ワクワクする授業をぜひ見つけてください。

Q トレーナー、スポーツインストラクター関連で取得できる資格はどのようなものがありますか？

A ・JATI認定日本トレーニング指導者資格・JPSU認定スポーツトレーナー・NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト(認定校申請中)・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者・健康運動実践指導者などがあります。

Q 教員採用試験対策サポートは受けられますか？

A 教員を目指す学生のサポートを目的に教職ゼミがあります。本ゼミは大学授業ではなく教員採用試験対策の具体的な取り組みを行うゼミです。指導は教育委員会や小中高の校長職を歴任された経験豊富な教授3名で構成され、学生個人に即したサポートが受けられます。

授業内容(カリキュラム)についてはこちらをご覧ください。

